

取組紹介

その2

多くのクラウドサービスを用い、従業員の相互管理や各施設間のテレコミュニケーションを促進

取組内容

- クラウド勤怠管理システムを導入し、シンプルな操作で誰でも、いつでも、どこからでも打刻や各種申請ができるようになりました。
- クラウド上で情報共有するサービスを導入し、共有された情報の閲覧やアンケート送信で社内独自のポイントを貯める仕組みを作りました。貯めたポイントはギフト券などと交換できます。
- 社内の情報共有や申請へのツール活用としては、社長メッセージ、役員コラム、各事業部からの全社共有、レインボーコラム(男女共同参画啓発のためのコラム)、各事業掲示板、自己紹介、社内アンケート、購入依頼、写真でつなぐ今日のバトンリレー(部署の様子を写真とともに一言コメントで紹介)などがあります。
- 就業規則の改定などがあれば情報共有して全従業員に周知し、既読確認も行います。
- 情報共有サービスの活用の一環として、サンクスカードで感謝の気持ちを気軽に言葉で伝えられるようにしました。
- ワークだけでなく、時短料理紹介ページ、看護師保健だより、社内フリマなど、従業員のライフを充実させるコンテンツも導入しています。
- クラウド上に記録された勤怠データは担当者が随時チェックを行い、懸念のある従業員がいれば上長に連絡して業務の調整を行います。

取組による効果

- クラウド勤怠管理システムにより各自で勤務状況を把握できるので、有給休暇の取得促進や残業時間の削減が可能となりました。
- 情報共有を行ったことによりコミュニケーションの円滑化、決済時間の短縮など業務効率化が可能になりました。
- 部署間の連携によるチーム意識の醸成、信頼関係構築による安心した職場環境の整備などが可能となりました。
- 従業員のライフの尊重のため、全従業員の誕生日に感謝を込めたプレゼントとクラウド上で全社共有のバースデーカードを贈っています。



ライフ・ワーク・バランス EXPO東京2023

働きやすさのその先へ ~「生き方」と「働き方」が調和する未来~

認定企業紹介



取組紹介

その3

企業内保育所の取組と従業員向け給食の提供による働きやすさの実現

取組内容

- 従業員の子どもを併設保育園で受け入れています。保育園の保育士は、90%以上が子育てを経験している母親。様々な経験に裏づけされたプロの保育技術に母親の視点をプラスし、「我が子に受けさせたい保育か?」と問いながら、視野の広い保育にのぞんでいます。
- ひろびろとした保育室に、天然木のオーダーメイド手作り家具を配した居心地のよい空間。近隣には緑がいつぱいの公園や、電車が見える公園など、お散歩スポットにもめぐまれています。
- 保育園給食室では従業員向け給食も同時に作ることで、栄養士監修のバランスの取れた昼食を1食300円で従業員に提供しています。給食はできるだけ安全な季節の食材、自然発酵の調味料、煮干しやかつおで出汁をとった味噌汁、指定栽培のお米、行事食など旬を大切に、こだわりの食材を子どもの発育に合わせた栄養計算のもと、保育園の給食室より作りたてを提供しています。
- 子連れ出勤制度もあり、事前申し込み制で子どもの昼食も提供しています。

取組による効果

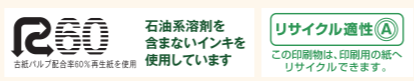
- 働いている間も子どもが近くにおり、何かあっても対応できるので、安心して仕事に打ち込むことができます。
- 家の食事ではとりきれない種類・量の栄養素が気軽にとれて健康になるだけでなく、美味しい昼食を食べることができ職場の雰囲気が良くなり笑顔が増えています。
- 給食提供による食生活の改善により、心身ともに健康になりさらに集中して業務をこなせるようになりました。



株式会社シーズプレイス

育児、介護と両立する社員を増加させ多様性を認め合い、効率的なソーシャル・イノベーションを推進

※このリーフレットは、東京ライフ・ワーク・バランス認定企業の取組紹介のために、東京都が発行したものです。東京都では、誰もが人生生活をもちと大切にすべきであると考え、ワークライフバランスの「ワーク」と「ライフ」をあえて逆にして「ライフ・ワーク・バランス」を推進しています。ただし、このリーフレットにおいては、認定企業が記載する文言についてはワークライフバランスという文言をそのまま使用しています。





# 株式会社シーズプレイス

育児、介護と両立する社員を増加させ多様性を認め合い、  
効率的なソーシャル・イノベーションを推進

## 会社概要

代表者名： 代表取締役 森林 育代  
創立(創業)： 2016年  
所在地： 東京都立川市錦町1-4-4  
サニービル2階  
TEL： 042-512-9958  
FAX： 042-512-9957  
従業員数： 120名(うち正社員26名)  
URL： <https://csplace.co.jp/>  
事業内容： 創業・就業支援、保育・福祉、  
ダイバーシティ推進、地域活性化



## 目的・理念

「幸せに育ち・働く」をデザインし、  
暮らしに新しい価値を生み出します

当社は「ひとの可能性を信じ、多様性を尊重し、新しい価値を世の中に創造する」を経営理念とし、「幸せに『育ち・働く』をデザインし、暮らしに新しい価値を生み出す」をミッションとしています。このミッションを組織としても実現するため、「こうあるべき」ではなく、従業員の「こうありたい」を尊重しながら制度を構築しています。個人が能力と個性を最大限発揮できるよう、ライフステージに応じて年齢や期間の制限なく、柔軟な勤務形態を相談できます。



代表取締役  
森林 育代

## 経営者からのメッセージ

時代の変化によって人々の価値観も多様化した現在、持続可能な社会の実現のためにダイバーシティ経営に取り組む企業が増えています。また、政府も様々な法整備などをおこない変革の後押しをしています。けれども生活者の視点から見ると、いまだに性別役割分担意識が残り、「仕事か子育てか」の選択で悩む女性が数多くいるのが現状です。「仕事も子育ても楽しみたい」、そんな女性たちがもっと活躍できる場をつくれば、男性の長時間労働の是正、女性の労働力率の増加、働き方の多様性、イノベーションが生まれ、属性に関わらず誰もがその人らしく活躍できる社会、持続可能な社会の実現につながるのではないのでしょうか。自分自身の人生を自分らしく楽しめる人を増やす、そんな未来のために、私たちCsPLACEは、夢のたねを育て、たくさんの花を咲かせ、誰もが笑顔で暮らせる豊かな社会づくりに邁進してまいります。

## 取り組みの経緯・背景

当社は、育児、介護、高齢などの制約や様々な背景を持つ人が活躍し、多様性が尊重される社会づくりを使命に創業し、ライフ・ワーク・バランスの取り組みは経営理念そのものです。潜在労働力や地域人材の雇用創出へ向け、採用時からライフスタイルに合った働き方を柔軟に相談できる体制をつくり、20～70代までの多様な背景を持つ方々が活躍するようになり、あわせて長く働ける職場環境づくりとキャリア形成支援の必要性が高まりました。全ての従業員が多様な個性をいかし、互いを尊重し、心身ともに健康で幸せに働ける環境をつくることは、社員の意欲向上のみならず、組織としてのイノベーション創出も期待されます。自分らしい人生を楽しめる職場環境づくりを地域の中で率先し、誰もが活躍できる社会づくりの一翼を担いたいと考えています。



## 従業員の声

1か月単位変形労働時間制により、子どもの送迎、学校行事への参加または通院などフレキシブルに労働時間を変更できることは、私生活の充実をあきらめることなく仕事への負担を調整できて大変助かります。さらに効率よく仕事をしようとするきっかけにもなりました。併設保育園へ子どもを預けられることで、保育園登降園のための時間を割くことがなくなり、気持ち、体力共に余裕ができました。また、子どもに働く姿を見ることが、子育てにおいてもプラスに作用していると感じることがあります。給食制度では、キッチンのスタッフが手作りにしてくれた食事を食べられることに元気をもらっています。バランスの取れたメニューを家庭での献立作りの参考にもでき、レシピを教えていただけるのも楽しみにしています。

## 取組紹介

### その1

## 子育てと両立する短時間勤務等の働き方制度を利用した社員による助け合いの風土構築

### 取組内容

- 代表をはじめ経営陣が現役世代の母親であるため、仕事と家庭生活の両立の当事者としての視点を生かしながら、積極的にライフ・ワーク・バランス推進に取り組んでいます。
- 時短正社員制度は子どもの年齢や介護の状況にかかわらず、ライフステージに応じた時短勤務が可能です。
- パート形態ではライフスタイルに応じた柔軟な勤務形態が可能です。正社員への転換についても、年齢制限を設けずに、希望や勤務状況を勘案して随時実施しています。少しずつ働く時間を増やしながらフルタイムになったスタッフもいます。
- 1か月単位の変形労働時間制で、業務の繁忙にあわせた柔軟な働き方が可能であるに加え、時間休制度により1時間単位で有給休暇の取得が可能です。
- テレワーク制度で在宅、カフェ、コワーキングスペース等、場所にとらわれない柔軟な働き方が可能です。また、ワンクリックで経費申請が可能です。
- 定期および随時の細やかな面談により、1人1人の状況や課題を吸い上げ、寄り添いながら、業務量の調整など既存制度の枠組みにとらわれずに柔軟に対応しています。
- 個人の能力・個性を発揮できるよう評価制度構築に向けたプロジェクトチームを設置し、顧問社労士と定例会議を実施しています。

### 取組による効果

- 子どもの学校での面談など、半休ほどでもなく、昼休み程度でもない微妙な用事に合わせながらきちんと働くことができ、生産性も上がっています。
- 外出先のカフェでも仕事ができることで、相手へのレスポンスも早くなりコミュニケーションが円滑になりました。
- 仕事にやりがいを感じていても扶養の範囲内を意識してパートのまままでとどまってしまう女性が多いと思われる中、時短正社員という選択肢があることでやりがいを持ち能力を発揮できる場が増えています。
- ライフステージに応じた働き方を柔軟に選択できるため、管理職を希望する人も着実に増えています。

